

岩手山（冬山トレ）

2010年11月13日
松田 他2

11月13日（快晴）

今日の岩手は珍しいくらいの快晴で、高速で盛岡が近づくにつれ、岩手山が美しい姿を見せる。「雪すごいな、」とS先生が言う通りで、昨日の悪天で山はかなり雪化粧している。西根インターで降り、馬返しの駐車場に着くと、S先生の友人のNさんがすでに到着していた。最初は長靴で行こうと思っていたが、思ったより雪が多いので、プラブーツにする。しばらくは、カラマツの林の中の緩い登りで、黄色く染まった森が美しい。少しずつ傾斜が増す頃、いきなり「どどーん」とすごい爆音が響いた。

自衛隊だよ、戦車の訓練でもやってんだらうとS先生。2～3分おきくらいにかなりの数の発射音が響いた。4合目を過ぎると道は吹きさらしの岩稜帯になり、積雪が現れた。悪天時は大変そうな所だが、トレースもあるし、今日の天気では全く問題ない。旧道と呼ばれる尾根形のはっきりしない斜面のような所をゆっくり登っていくと、やがて7合目に着く。東にひっそりと品のいい姿を見せる姫神山は実に美しく、つつましやかだ。

ここからやや傾斜が落ち、左方向に登っていくと三角形の屋根（トイレ）の後ろに大きな8合目の避難小屋が見えた。この小屋はシーズン中、岩手の山岳会が交代で管理しているようだが、二百人くらい泊まれそうな規模の大きな小屋である。これだけ大きいと小屋管も大変だそうで、百名山ということもあり、週末はかなりの宿泊客が訪れるそうだ。来年は小屋管をやってみたら面白いよと勧められた。

小屋の陰で強風に備えて装備を整え、山頂に向かう。鬼が城の荒々しい稜線を左に見ながら一登りするとお鉢の一角に飛び出す。谷を隔てて秋田駒、乳頭、八幡平などが、遥か下の方に鞍掛山が見える。ゆったりとお鉢を回

って山頂に着いた。S先生の友人のOさんもいて、みんなで年賀状用だと言って写真を撮る。さらにお鉢を半周するが、風の強い所があり、耳や鼻がとても冷たかった。八合目小屋に戻り、大休止。風もやんでぽかぽかのデッキで、いろいろな国内外の山の話や岩手の山岳会の話に花が咲き、のんびりする。

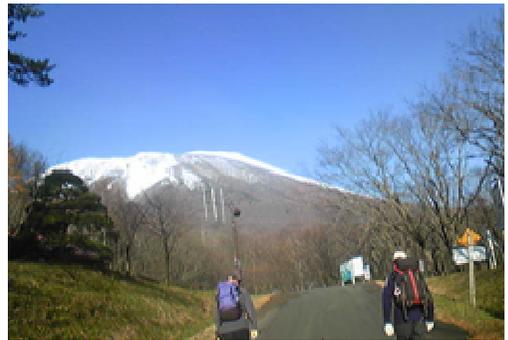
下山になると岩だらけの道はプラブーツには一段と歩きにくい。厳冬期のここの下りは目印がほとんどなくて難しそうで、今度、来ようと言われたが、私で登れるか疑問な感じだ。眼下に西根の田園風景を見下ろしながら、再びカラマツ林を抜け、駐車場に着いた。他の3人は数え切れないほど岩手山に登っているようだが、今日は珍しいくらいの好天だと話していた。幸運に感謝して帰路に着く。

コースタイム

駐車場（8：00）－ 山頂（12：10）

－ 駐車場（15：30）

地形図 岩手山



上 馬返し登山口：下 お鉢より望む山頂